


令和2年度 部長マニフェスト 生活環境部長

部の概要

所属課と人員 (R2.4.1現在)	まちの振興課・環境政策課・ごみ減量課	53人	
----------------------	--------------------	-----	---

部の運営方針

生活環境部は、コミュニティの振興、NPO・市民活動の推進など市民の暮らしの基本になることと、環境衛生、自然環境の保全、ごみ処理、消費者相談などの市民生活の環境を整える施策を一体的に担当することで、市民が生き生きと生活できる環境づくりを助長・支援し、総合的に市民の暮らしづくりを支えています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対応により、これまでとは違った行政運営が迫られています。商工振興策では、コロナ禍にあえぐ中小企業支援を迅速に行うとともに、くにたちの賑わいを取り戻すための施策を推進していきます。ごみ減量施策においては、ステイホームや在宅勤務の増加によるごみ排出量の変化を見極めながら、ごみ減量による環境負荷の低減を進めるための施策を実施します。待ったなしの地球温暖化対策については、国立市域地球温暖化対策アクションプランを推進するとともに、市内に残る貴重な緑を保全していきます。また、もっとも市民に身近な部であることから、丁寧かつ迅速な接遇に努めます。

令和2年度の重点項目

項目	具体的内容	達成状況(年度末評価)	達成度
1 新型コロナウイルス感染症対応	新型コロナウイルス感染症の流行により、甚大な影響を受けている中小企業者の支援策を迅速に行います。	中小企業支援金(3本)、紹介の行うプレミアム付き商品券への補助対応、消毒液の配布とその時々フェーズに応じて迅速な支援を行うことができました。また、中小企業支援金の申請においては、オンライン申請に取り組み、成果を挙げました。	A
2 商工業振興とまちの賑わいづくり	商工会と連携し、都内では初となるBizモデル施設の開設に向け準備を行い年度末の開設を目指します。また、新たな観光需要を喚起するため、観光まちづくり協会と連携し、観光大使の任命を行います。	Bizモデルについては、最後に残念ながらセンター長候補者の辞退ということがあり、令和3年度に持ち越しとなりました。観光大使には三浦祐太郎さんにご就任いただきました。Twitter(@yutaro.3ura)等で効果的なPRをしていただいております。かなりの反響があります。	C
3 市域全体の温暖化防止対策の推進	「国立市域地球温暖化対策アクションプラン」に基づき、二酸化炭素排出量削減の取り組みを推進していきます。また、住宅用スマートエネルギー関連システム設置費補助制度、省エネ住宅建築・改修補助制度及び省エネ家電買い替え補助制度の周知に努め、予算執行率90%以上を目指します。	本庁舎における再生可能エネルギー100%電力の導入や公共建築物省エネ対策事業に係るガイドラインの作成、北秋田市とのカーボンオフセット連携など、新たな取り組みを実施しました。各補助金の執行率は、いずれも決算見込において、100%近い執行率となっています。	A
4 ごみ減量の推進	ステイホームや在宅勤務の増加によるごみ排出量の変化を見極めながら、安定したごみ収集を継続するため、収集員等の感染予防に努めます。また、ごみ減量による環境負荷の低減を進めるため下記の施策を実施します。 生ごみの水切り・紙類の資源化促進のため、水切りネット、雑紙回収袋の窓口等での配布を行う。 生ごみ処理容器の普及推進のため、HPや市報等でミニ・キエーロの機能を紹介し、モニター講習会の開催可否を検討し、普及を促進する。 食品ロスへの対応として、消費者に向けた食べ残りの取組等の啓発をHPや市報等で行う。 EPRを推進するため、販売事業者の店頭資源回収の取り組みをエコショップ制度として支援する。	コロナ禍により、2度の緊急事態宣言の発令を踏まえ、感染予防に十分な配慮を行い、ごみ減量を推進する施策を実施しました。 資源化促進のための啓発品の窓口等での配布と合わせて、駅頭でのPRを9回実施しました。生ごみ処理容器の普及推進のため、HP上でミニ・キエーロの機能を紹介し、モニター講習会を定員を制限し6回開催しました。市報特集号、HPで市民へ食べ残し応援レシピの活用、フードドライブの単独開催を行い、食品ロス削減に取り組みました。販売事業者の店頭資源回収を推進するエコショップを2店舗から26店舗に増やすことが出来ました。	B
5 災害廃棄物処理計画の策定	大規模災害の発生時に発生する多量の災害廃棄物を実際に適正かつ円滑、迅速に処理するた関係機関と連携した災害廃棄物処理計画を策定します。	大規模災害による災害廃棄物を適正かつ円滑、迅速に処理するための基本事項を定め、庁内検討会での検討、ごみ問題審議会での意見聴取、パブリックコメントの実施等を踏まえて、令和3年2月に国立市災害廃棄物処理計画を策定しました。	A

【達成度】 A...100% B...80%以上100%未満 C...50%以上80%未満 D25%以上50%未満 E25%未満